

## 木のぬくもりに触れる

### 西行桜の森親子木工教室

親子木工教室が8月2日、西行桜の森木工芸館遊鵬で開催されました。

教室には15組32人の親子が参加。参加者は、ひらいずみ里山倶楽部会員の指導のもと、金づちやのこぎりを使って、貯金箱や本立てなどの作品づくりに取り組んでいました。



親子で力を合わせ作品づくり



祭壇に向かって手を合わせる参列者

## 戦争のない平和な世界を願う

### 平泉町戦没者追悼式

町戦没者追悼式が8月8日、平泉町文化遺産センターでしめやかに営われました。

町長の式辞に続き町遺族会木村会長らが追悼の言葉をささげました。

参列した遺族ら90人が祭壇に花を手向けて静かに手を合わせ、戦争の犠牲となった肉親や先祖のめい福を祈りました。

## 市川猿之助さんが披露

### 世界遺産劇場エキストラ平泉歌舞伎

世界遺産登録3周年と平泉世界遺産の日制定を記念した世界遺産劇場平泉歌舞伎(世界遺産連携推進実行委員会など主催)が8月24日、観自在王院跡に設けられた特設ステージで開催されました。

市川猿之助さんが出演し、「静と知盛」と「連獅子」の2演目を披露。

「静と知盛」は、歌舞伎の「舟弁慶」から源義経ゆかりの静御前と平知盛の二役を抜き出した舞踏で、猿之助さんが一人二役で演じ、優美さと勇ましさを舞い分けていました。



「静と知盛」での気迫あふれる舞

「連獅子」は、親獅子が子獅子を千尋の谷に突き落とし、這い上がって来た子獅子だけを育てるという故事を基にした舞踏。クライマックスに向け親獅子と子獅子による豪快で華麗な毛振りが披露されると、訪れた観客は、歌舞伎の世界に引き込まれ、公演後は大きな拍手が沸き起こりました。



勇壮な連獅子を披露した市川猿之助さん(左)と市川弘太郎さん

## 風情あふれる 古都平泉の夜




▲大泉が池に浮かぶ灯籠 (8月16日)

8月16日毛越寺浄土庭園で法灯会が開かれ、大泉が池には、先祖供養や震災復興などの願いが込められた灯籠が浮かべられ、幻想的な雰囲気になっていました。

また、今年で50回目を数える恒例の大字送り火は、雨天の影響により開催日を8月20日延期して実施されました。

駒形峰に「大」の字が浮かび上がると、見物客らは、行く夏を惜しみながら、送り火を眺めていました。



▲幽玄の世界をかもしだした中尊寺薪能 (8月14日)

## 役場ホールを彩る

### グループホームけーせんの七夕飾り

グループホームけーせんの利用者が作製した七夕飾りが今年も役場ホールを彩りました。

折り紙で作られた色とりどりの装飾で飾られた吹き流しは、約半年をかけて完成。来庁者に涼しさを届け、見学に訪れたけーせんの皆さんも出来映えに満足している様子でした。



記念撮影をするけーせんの皆さん



受章の伝達を受ける千葉専郎さんと息子の専二さん

## 千葉専郎さんに旭日単光章

### 高齢者叙勲

元町議会議員の千葉専郎さん(15区)が旭日単光章を受章されました。

千葉さんは昭和51年4月に町議会議員に立候補し当選。以来平成8年4月までの4期16年在職されました。その間、総務常任委員会委員長などを歴任し、地方自治の発展と住民自治の向上に尽力。町行政の推進と議会の発展に貢献されました。